

ビジネス・ブレイクスルー大学 2022年第1回 第三者評価会議（企業）

日時	2022年 10月19日（水）11:00～12:00
場所	オンライン
議題	1. 【報告】 デジタルファーストキャンプ（第1期）進捗のご報告 2. 【議論】 委員の方から見えるデジタルファーストキャンプ講座の課題や、教育の質向上に向けた本学の取り組み・マーケティング活動について
出席	フォースバレー・コンシェルジュ株式会社 柴崎洋平 委員 株式会社サーキュレーション 野谷勤 委員 小林慎和学科長（議長）、柴田巖事務総長、 【内部質保証室】横山事務局長、石黒教務部長

【議事骨子】

- ・議長からデジタルファーストキャンプの教育目的、カリキュラム概要、主要講座の概要について説明した
- ・委員から、次のような質問が出た
 - － デジタル人材を輩出するキャンプの中で、実際のコーディングも教育されるのだろうか。
 - － キャンプを修了した後、参加者は会社に戻ってどういう動きが可能になるだろうか。
- ・委員からの質問に対して、議長は次のような回答をした

今回はデジタルサービスをどうすれば構想できるか、アプリなどの開発をどう効率よくマネジメントしていくかにフォーカスしているため、実際のコーディングは対象とはしていない。ただ、コーディングの基礎を学び、アプリが動く仕組みの把握は対象としている。

キャンプ終了後は、社内のアプリ開発マネージャーとしてエンジニアとのコミュニケーションが円滑になることや、日々の業務を手軽にデジタル化することで、生産性を上げる取り組みなどを企画遂行できるイメージを持っている。
- ・実社会における DX 人材ニーズの観点からは、本講座の良い点、改善すべき点は次のような発言がなされた
 - <良い点>
 - － 日本のミドルエイジが抱える課題にまさにマッチしているプログラムと感じる
 - － 自分も受けた内容だし、社内のビジネスマネージャー層にちょうどフィットしていると感じる
 - <改善すべき点>
 - － 受講生のレベルにばらつきがでる可能性があるのではないかと。
 - － デジタル初心者に向けて補講のようなものも用意するとさらによいのではないかと。

- 議長は次のステップ、および課題について以下を重点項目として申し合わせた
 - － 各学習者の学習ニーズに応じた学習支援の提供
 - － 講座教員、LA からのきめ細かいフィードバックの提供
 - － 各学習者の学習進捗の可視化と改善課題の抽出

- 次回開催は、本講座が修了する本年 12 月～23 年 1 月頃を目途とする事とした

以上